

**Bhajju
Shyam**
KYOTO
鎌倉遷展

Exhibition Report

「Bhajju Shyam Kyoto 鎌倉遷展」開催のご報告

バッジュ・シャーム・キョウト実行委員会は、2023年11月30日(木)から12月18日(月)にかけて、インド現代ゴンド・アートの第一人者であり、インドの最高市民栄誉賞“パドマ・シュリ賞”受賞アーティストでもあるバッジュ・シャームの個展「バッジュ・シャーム・キョウト 鎌倉遷展」を北鎌倉 東慶寺 松岡宝蔵にて開催いたしました。

本展は、バッジュ・シャームの初来日個展として昨年2023年8月に京都・東寺にて開催され、18日という短期間ながら約1万人が来場するなど大きな話題を呼んだ「Bhajju Shyam Kyoto」のポスト・サテライト展示です。京都会場未出品の作品が中心となり顔ぶれを新たにした展示構成は、シャームの作品群の多様さや奥深さを物語り、紅葉が見頃を迎え冬支度が始まるまでの北鎌倉エリアに一層の彩りを添える一役を担いました。京都展同様に、老若男女を問わず多くの来場者の方々が、驚きと感動、そして喜びを伴う鑑賞体験をされ、シャーム作品の放つ魅力や輝きを共有できたことを嬉しく思います。バッジュ・シャーム・キョウト実行委員会は、今後も日本各地にシャーム作品の魅力をお届けし、日本とインドの文化芸術の交流・発展に尽力してまいります。

本展開催にあたり、多大なるご支援をいただきました関係各位に、心から御礼を申し上げます。また、今後ともバッジュ・シャーム・キョウトへのご高配を賜りますようお願い申し上げます。

バッジュ・シャーム・キョウト実行委員会

開催概要

展覧会タイトル | Bhajju Shyam KYOTO 鎌倉遷展 (バッジュ・シャーム・キョウト 鎌倉遷展)

会期 | 2023年11月30日(木)～12月18日(月)

会場 | 臨済宗円覚寺派 松岡山 東慶寺 松岡宝蔵

住所 | 神奈川県鎌倉市山ノ内1367

開館時間 | 9:30～16:00

入場料 | 無料

URL | <https://bhajju-shyam.jp>

Instagram | @bhajjushyam-kyoto

来場者数 | 6,237名

主催 | バッジュ・シャーム・キョウト実行委員会 (JAPANDIA、VISIONS)

企画 | JAPANDIA、VISIONS

後援 | 鎌倉市、在大阪・神戸インド総領事館、NPO法人 日本インド文化経済センター (NICE)

Exhibition

本展は、北鎌倉 臨濟宗円覚寺派 松岡山 東慶寺の松岡宝蔵にて開催された。

梅や紫陽花など四季折々の花で北鎌倉を代表する 花の寺 として、また世界に禅の文化を紹介した鈴木大拙ともかかわりの深いことで知られる東慶寺は、寺院としての原点であり 本質的な在り方である「心のよりどころ」「心を正しく調える場所」を志向するなかで、座禅会や茶道・華道体験のみならず、ヨガやアーユルヴェーダ、インドの手仕事による衣服など、インドの良質な文化の発信にもかねてから取り組まれてきた。

鎌倉特有の谷戸という地形いっばいに広がる境内の草木も、本来の自然が持つおおらかな力強さが感じられ、シャーム作品で描かれるインドの大地とも繋がっているかのようである。

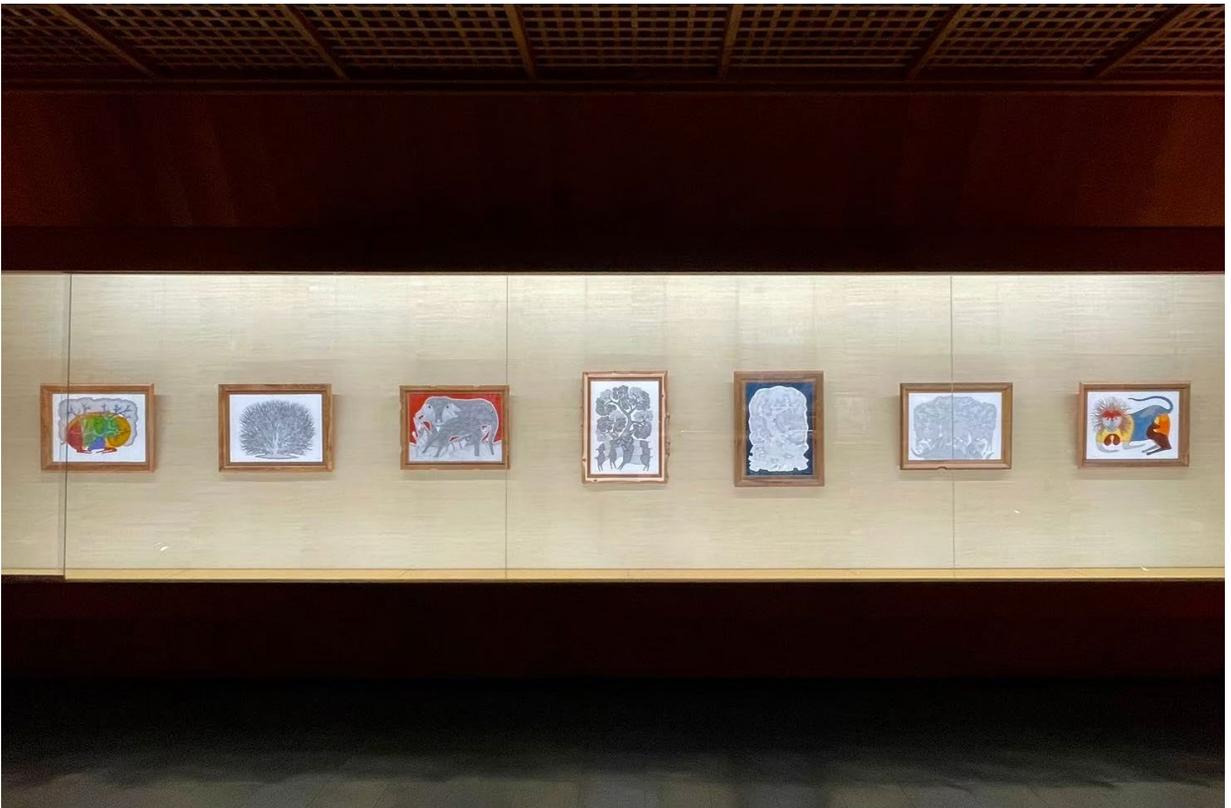
このような環境に位置する東慶寺の宝物館 松岡宝蔵内に、京都会場で未出品の作品を中心に、シャームが京都でのアーティスト・イン・レジデンスで制作した最新作品2点を含む原画23点を展示した。

額制作・額装は、京都会場に続き岡山を拠点に活動する額作家 kinowaが担当。日本家屋や農具などの古材を用いて制作される額装は、展示什器内に畳が用いられた松岡宝蔵のしつらえとも深く調和し、好評を博した。作品のキャプションも京都会場同様、日本語・英語・ヒンディー語の3言語表記とした。

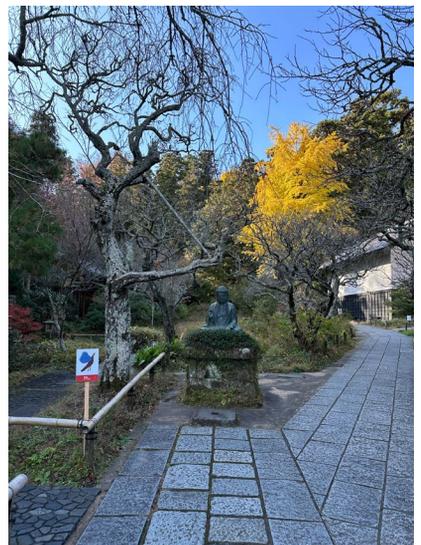
東慶寺境内の悠々たる自然、シャーム作品のユニークで色鮮やかな色彩やモチーフ、そして多くの来場者による熱気が呼応し、平時は開放されておらず清冽で静謐な空間である松岡宝蔵に、明るい生命の風が確かに吹き抜け感動がこだまする19日間となった。

*本展は、東慶寺及び東慶寺が境内全域で取り組まれている「大地の再生」という環境改善の取り組みに賛同し開催された。









Event

TSUCHIYA KABAN 鎌倉店 サテライト展示

■会場

TSUCHIYA KABAN 土屋鞆製造所 鎌倉店

神奈川県鎌倉市由比ガ浜1-10-2

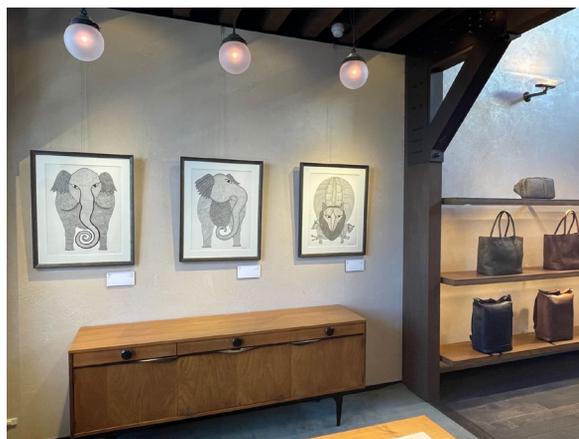
営業時間 10:00～18:00

■会期

2023/11/30(木)～2023/12/18(月)

※毎週火曜日定休

■入場無料



GOODS

バッジュ・シャーム・キョウトのオリジナルグッズを販売するポップアップショップを松岡宝蔵内にオープン。京都展で人気を博したアイテムに加え、鎌倉展オリジナルアイテムも製作。

ポストカードやクリアファイルなどのスタンダードアイテムはもちろん、“信頼できる生産者の最高の素材と遊び心のある発想とデザインでどんなときも、自由に、大胆に面白く「人生にアクセントをつける服」”をコンセプトにファッションシーンを長年牽引してきた大阪発のアパレルブランド「BRÚ NA BÓINNE (ブルーナボイン)」とのコラボレーション第二弾のスウェットなど、幅広く展開を行った。

新作グッズ一例



A4クリアファイル



缶バッジ“Motif”



バンダナ



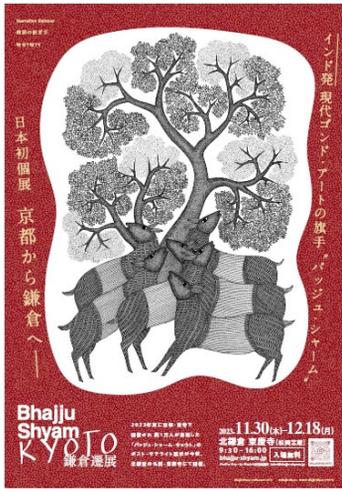
BRÚ NA BÓINNE × Bhajju Shyam KYOTO ビッグシルエットスウェット



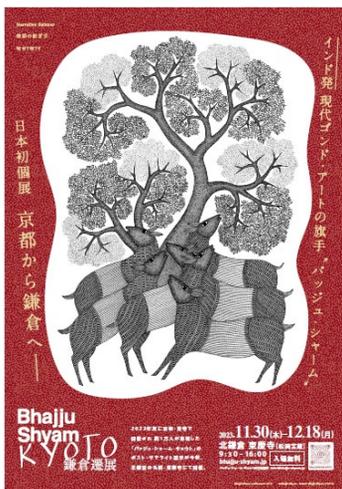
ポップアップショップ

PR

フライヤー



ポスター



JR北鎌倉駅広告



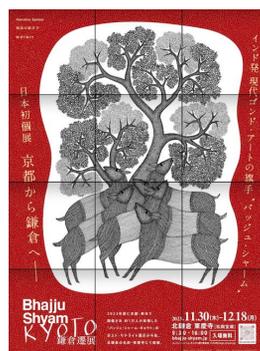
Webサイト (<https://bhajju-shyam.jp>)



プレスリリース



Instagram (@bhajjushyam-kyoto)



Profile

バッジュ・シャーム

Bhajju Shyam

(1971-)



Photo: Helvetica

インド中部の森にあるゴンド族の村 パタンガル生まれ。ゴンド族に伝わる表現や物語を受け継ぎながら自身の視点で昇華し、現代的な感覚やシンプルなストーリーテリングを交えて表現することで、師匠であり叔父であるジャンガル・シン・シャームが確立した現代ゴンド・アートの表現を拡張し続けている。

1998年パリ装飾美術館でのグループ展参加を皮切りに、ロンドン、ベルリン、ミラノ、オランダなど世界各国の美術館やギャラリーで個展やグループ展が開催されている。代表作に、南インドの出版社タラブックスと制作し世界8ヶ国語に翻訳されている『The Night Life of Trees』（ドゥルガー・バーイー、ラーム・シン・ウルヴェーティとの共著。邦訳：『夜の木』青木恵都訳、タムラ堂、2012年）をはじめ、『Creation』（邦訳：『世界のはじまり』ギター・ヴォルフ文、青木恵都訳、タムラ堂、2015年）、『The London Jungle Book』（邦訳：『ロンドン・ジャングルブック』ギター・ヴォルフ、シリシュ・ラオ文、スラニー京子訳、三輪舎、2019年）など。2018年には日本の国民栄誉賞に相当するパドマ・シュリ賞をゴンド・アーティストとして初めて受賞し、インド政府から表彰された。2023年には日本初となる個展「Bhajju Shyam KYOTO」が世界遺産・東寺（京都）にて開催され、19日間の開催で延べ約1万人が来場したほか、本人も初来日を果たし、アーティスト・イン・レジデンスにて京都や日本文化をテーマとした作品を制作した。

〈事務局・問い合わせ先〉

バッジュー・シャーム・キョウト実行委員会 事務局

Mail: info@bhajju-shyam.jp

TEL: 03-6276-1417 FAX: 03-6276-1410